

●ガバナー 田中 常浩 ● 会長 清川 浩幸 ● 幹事 慶徳 拓也 ● コミュニケーション委員長 中村 澄

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2020/

第 2248 回 例会 記録

《青少年奉仕委員会担当例会》

2023 年 5 月 18 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1680

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか



《ゲスト》

青森県立八戸高等学校 JRC インターアクト愛好会

顧問 山口明子先生

部長 中村直大さん

郡川佳一郎さん

《会長要件》清川会長



皆さんこんにちは、今月は青少年月間です。そして、本日は青少年奉仕委員会担当例会です。八戸高校インターアクトクラブの中村直大さん、郡川佳一郎さん、そして顧問の山口明子先生、ようこそ。

4 月 30 日の蕪島海岸清掃は、お疲れ様でした。今回は私が入会してから最高の参加人数でした。大変うれしく思います。本日は、コロナが完全に終息したわけではないので、アクリル板を設置させて頂きました。本来ならば沢山の方とお会いできるのを楽しみにしていましたが、中村部長とアクトの翼に参加された郡川さんが代表でいらっしゃいました。どんな話が聞けるか、どんなポスターを作成して入会者の増大に繋がったのか、私達も会員増強のヒントを頂けると思い楽しみです。ただ、このコロナ過の中で一度も蕪島海岸清掃、アクトの翼、クリスマス家族会に参加出来ない先輩もいたことを覚えていてください。それだけ長い時間が流れたということです。

ところで、インターアクトクラブが世界にどれだけあるか皆さんご存知でしょうか？インターアクトクラブのある国は 145 か国インターアクトクラブ数 14,911 クラブ、そしてインターアクター数は 342,953 名もいます。貴方たちと同じ奉仕活動に興味を持っている方々です。それだけ世界には仲間がいます、勇気をもって行動してください。

RI では、若者の声をサポートする 4 つの方法を提唱しています。

1. 自分の目標ではなく、彼らの目標の達成に焦点を
2. 委員会、タスクホース、チームに若者を含める
3. リーダーとしての役割を担ってもらう



《出席報告》中村委員長

正会員数 31 名。本日の出席は免除会員 7 名を含む 22 名。出席率は 75.9%です。

4. 「大人イズム」に要注意

です。すぐに大人は声を出しますが自主性を尊重しましょう。私も高校 3 年間 JRC に所属して自分達で計画し行動しました。是非とも、このような活動を計画していますので、ロータリーの皆さんと一緒に活動したいです、協力して頂けますかと言ってください、それが私の思いです。八戸高校インターアクトクラブの皆さんよろしくお願ひ致します。

《幹事報告》慶徳幹事



・地区事務所より、地区女性会員の集いのご案内が来ています。6 月 11 日 (日) 13 時から 15 時、八戸プラザホテルです。もちろん男性会員の方のご参加もお待ちしていますとのことです。ご希望の方はお申し出ください。

・先日行われました地区研修・協議会のお礼状が地区事務所より届いています。

・ロータリー手帳を注文された方のレターボックスに手帳を入れています。数冊予備がありますので申し込んでいない方でご入用の方は事務局まで。

《ニコニコボックス》松橋副委員長

清川会長：八戸高校インターアクトの皆さん、顧問の山口先生ようこそ！！

慶徳幹事：八戸高校インターアクトクラブの皆さんようこそ。

黒田会員：八高 IAC の皆さん、今日は！

赤穂会員：八戸高校インターアクトクラブの皆さんようこそ。

伊藤会員：八高 IAC の皆さんようこそ！



松田会員：八戸高校インターアクトクラブの皆さん
ようこそ。

吉田賢治会員：インターアクトの皆さん、山口先生
ようこそ。今日はよろしく願います。

中村会員：八戸高校インターアクトクラブの皆様
ようこそ。

《青少年奉仕委員会》慶徳幹事

本日は青少年奉仕委員会担当という事で、本来であれば橋本委員長からご挨拶いただくところですが、所用で早退しましたので、本日の進行は幹事の私が務めさせていただきます。

本日八戸高校インターアクトクラブの皆さんにお越しいただいております。代表で中村直大さんと郡川佳一郎さんにお越しいただいておりますので、お二人に日頃の活動とアクトの翼のお話し、先ほど会長の話にもありましたが、今年度は入会希望者が多数いらっしゃったという事でしたので、その辺の事も併せてお聞きできればと思っております。それでは中村さん郡川さんご登壇お願いいたします。

《八戸高校インターアクトクラブ》中村直大さん



これから八戸高校 JRC インターアクトクラブの活動報告を始めます。

・令和4年12月15日、クリスマス会に4名が参加しました。

・令和5年1月8日、成人式ボランティアに1名が参加しました。

・1月22日、冬期特別国体開催準備ボランティアに1名が参加しました。

・4月30日、蕪島海岸清掃活動に17名が参加しました。(12月以前の活動はクリスマス会で報告済み)

ここで愛好会を代表して蕪島海岸清掃活動の感想を述べさせていただきます。

可愛いウミネコを間近に見ながら、八戸南ロータリークラブの皆様と、蕪島海岸清掃活動に参加できることを心待ちにしていました。なぜなら、私がJRC インターアクトクラブに入会后、コロナ禍で活動が縮小されたので、残り少ない高校生活を大切にしたいからでした。

当日は風が強かったものの雨は免れることができ、海岸には思いの外ゴミが少なく感じられました。和やかな雰囲気の中、約1時間という短い間でしたが、微力ながら環境美化に努めることができました。清掃終了後、蕪島神社の新社殿にて、宮司の野澤さんから、私たち愛好会までも祈祷して頂いたことは本当に貴重なありがたいひとときでした。

八戸南ロータリークラブの皆様のおかげでできた活動に心から感謝し、三陸復興国立公園の玄関口である蕪島海岸をきれいな海岸であり続けられるよう守って行きたいです。

《八戸高校インターアクトクラブ》郡川佳一郎さん

私の方からは4か月前になりますが1月の初旬にインターアクトの翼の国際交流、そして台湾へ訪問したときの感想をのべて行きたいと思っております。

今回のインターアクトの翼に参加したきっかけは、自分の住んでいる日本、青森県、八戸市を客観的に

見つめ直したいと思ったからです。長い間、自分は日本に住んでいるので、一度日本はどんな国かと考えてみると、何も思い浮かぶことはありませんでした。ちなみに、今回の国際交流において私は二つのことを楽しみにしていました。



一つ目は台北市内の観光を満喫することです。現地に行くと、町中にあるもの全てが新鮮で感動するほかありませんでした。日本ではあまり嗅ぐことのできない、やや強烈な香辛料の臭いも経験して、初めて外国に来たのだと思いました。また、九分という地域で映画「千と千尋の神隠し」にも登場する景色と食事を楽しみ、十分では各々の願いを乗せた提灯上げをしました。現地での食事の際にはターンテーブルを囲んで、楽しく時を過ごしました。

二つ目は現地の高校生との国際交流を楽しむことです。彼らとの会話は英語で行いましたが、相手に伝えよう、聞いてみようとする気迫が強く、私は結構圧倒されていました。その中でも、自分の言いたいことも表現できるようになり、会話が弾んできました。また、2泊3日もかけてホストファミリーにお世話になりました。台湾の特徴、自慢を聞いて、持っている文化の内容は違えど、八戸えんぶりは豊作を願う伝統芸能だと伝えると、台湾にもそのようなものがあると言われたように、人々の信念は世界中で同じなのだと思いました。そして、夜市へ行ったり、他愛のない話をしたりして止められるものなら止めてしまいたい時間をすごしました。現地でお世話になった方々と別れる時には号泣してしまいました。海外旅行には胃腸薬だけではなく、ハンカチも必要です。

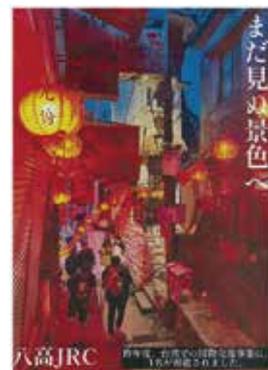
最後に、ロータリークラブの方々のご支援もあって、心が突き動かされる経験をすることができました。本当にありがとうございました。



ここからは厳選した写真を交えながら断片的ですが紹介していきたいと思っております。(写真スライドを使って楽しい旅行

記を語ってくれました) 少し長くなりました、ありがとうございました。

最後に新入生勧誘用に作ったポスターがこちらになります。この経験を後輩にも是非経験してもらいたいと思ひまして九分の画像を基に勧誘ポスターを作りました。「まだ見ぬ景色へ」という事で、僕はJRCに入部して、この様な機会を頂けて本当に嬉しく思いますし、まさか台湾へ行けるとは2年前の僕は思っていませんでした。一步でも踏み出したらそこに新しい景色が待っている、一步踏み出すときよりも自分は成長できる、その場として八高JRCがあるという事を伝えたく、このポスターを作りました。とても反響



が良く、1年生からの新入部員だけでなく、2年生からも JRC に転部したいですと言ってくれた人も沢山いたので、僕の台湾は色んな意味で成功したなと思いました。これで僕の発表を終わります。ありがとうございました。

《慶徳幹事》

部長の中村さんの活動報告は理路整然として分かりやすい内容でしたし、郡川さんのアクトの翼の体験

記、楽しく聞くことが出来ました。最後に皆さんご覧になったポスター、郡川さんが言っていたように「一歩を踏み出す勇氣」、我々もこの気持ちをもって会員拡大に努めて行けば、会員増強にもつながるのではないかと思いつながらお話を聞いていたので、皆さんもそういう気持ちを大切にしていきたい。本日は八高インターアクトのお二方、山口先生ありがとうございました。